

A large, stylized white Japanese character 'ボランティア' (Volunteer) is centered on a solid yellow background. The character is composed of thick, rounded strokes, with the 'ボ' on the left having a vertical stroke and the 'ランティア' on the right having a diagonal stroke.

NPO法人 徳島県レクリエーション協会

今回の特集では、レクリエーションを通じて徳島県民の元気づくりをしながら、自分たちも元気をもらっているというNPO法人「徳島県レクリエーション協会」（以下、県レク）をご紹介します。

「笑顔 DE 元気づくり」をテーマに、子どもから高齢者まで誰でも、いつでもどこでも気軽に楽しむことのできるレクリエーション活動を続けて、はや来年で40周年を迎えます。



要援護者支援に重点を置いた模擬訓練を実施

今回は、合同模擬訓練の実施状況および今後県内で要援護者支援を進め、暮らしやすいまちづくりを進めるための取り組みについてまとめてましめまし

徳島県社会福祉協議会では、本年度からの3ヵ年で、要援護者支援を中心、福祉的な視点を重視した社会福祉協議会（以下社協）らしい災害時の対応を学び、様々な相談が社協に集まり地域の相談の拠点となることを目的として「社協の総合相談支援対応力向上事業」を開催しています。

本年度はそのメニューの一つとして、県下3ブロック（東部、南部、西部）で避難所運営等様々な内容で合同模擬訓練を実施



RIPPLE リップルとは、波紋のことです。

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

NPO 法人 徳島県レクリエーション協会

地域のつながりや親子関係の希薄化、子どもたちの体力低下などの社会問題を、レクリエーションを通じて解決していくことを活動しています。



あそびの城 in 月見ヶ丘

月見ヶ丘海浜公園で、県レクの有資格者を中心に、家族みんなで楽しめる事業を展開しています。

皿回し
県レクの方が回し方のコツを教えてくれます。上手に回せたね。

スポーツチャンバラ
ルールと型を教わって真剣勝負！大人にまけるな。



輪投げ
いろんな形の的を狙います。
狙い通りいったかな？

折り紙遊び
みんな真剣に先生から教わっています。
折り紙は折った後でも遊べます。



レクリエーションは「元気の源」

レクリエーションというものは本来、いかにみんなで立ち上がっていかかという目的で使っていくものなんです。歌って、踊って、ゲームをするのは、あくまで方法の一つです。だから、おもしろいもので時代時代に必要なレクリエーションの精神の中身が変わってくるんです。例えば、戦後に立ち上がりうとする国民の意欲、職場内の福利厚生や職員の元気づくり、最近では東日本大震災から立ち上がりうとする意欲。このような目的のために使っていくものなんです。レクリエーションとは何かと問われたら「元気の源」と答えます。人に伝えながら自分も元気になっています。

私は元々人が好きです。人と関わりその場にいるのが。だからこそ、レクリエーション以外にも57年間ボランティアを続けてきました。ボランティア活動の成果は、お互いの相乗効果で、自分自身に返ってくるものだと思っています。

これからは、地方に分散している指導者・有資格者が、ご近所さんと自分のできる活動範囲内で、日常的にレクリエーションをしていくことを目標としています。



会長 米田 潤二さん

「楽しい」を作るレクリエーション

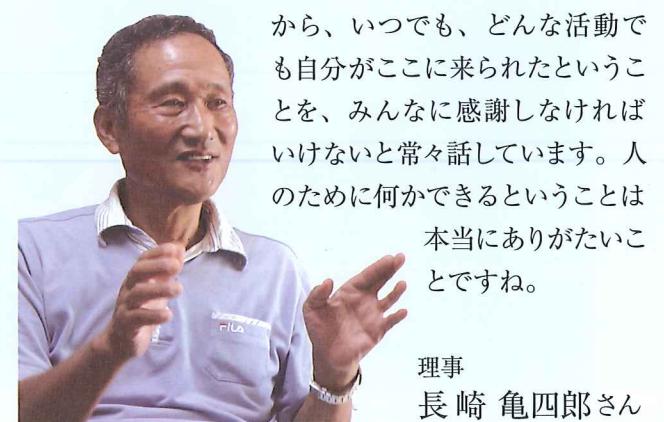
レクリエーションの基本は健康づくりや仲間づくりです。児童から高齢者までの幅広い生活そのものがレクリエーションなんです。「楽しい」を作るのがレクリエーションですから。

まず自分が楽しんで、それからみんなに楽しんでいただいて、それでお互いに「ありがとう」と感謝し合えたら、それが生きがいですね。

ボランティア活動をするには、自分と家族の体調管理、まわりの協力が必要なんです。どんなに熱心な方でも、環境次第で活動できなくなる人もいますから。

から、いつでも、どんな活動でも自分がここに来られたということを、みんなに感謝しなければいけないと常々話しています。人のために何かできるということは本当にありがたいことですね。

理事 長崎 亀四郎さん



あそびの城に参加した学生ボランティアへインタビュー！

他にも子どもと関わるイベントに参加する予定なので、いろんな遊びを実践の中で学べて良かったです。

子どもたちに喜んでもらえてすごく楽しいです。

徳島文理大学 学生ボランティアのみなさん

NPO 法人
徳島県
レクリエーション
協会
会長 米田 潤二

〒771-0219
徳島県板野郡松茂町 笹木野字ハ北開拓
184 番地の 2
TEL/FAX : (088) 677-5255
URL : <http://toku-rec.health-life.net/>

大切なのは親子のふれあい

県のレクリエーション養成講座に参加し、居心地の良さに惹かれ、活動に参加してきました。温かい空気の中にいることで、仕事のストレスも忘れ、生活のクオリティも高めることができると感じています。

徳島文理大学は、日本レクリエーション協会と提携を結び、レクリエーションの資格を与える課程認定校に 理事 岡山 千賀子さん 認定されています。様ざまな事業に (徳島文理大学 講師) 学生を派遣することにより、学生と県レクを結ぶことが私の仕事です。

私が目指しているのは、親子のふれあいです。既製のおもちゃではなく、作るプロセスから一緒にやり、見せ合い「きれいにできたね」と、子どもの出来をほめてあげるような会話が、親子の関係でとても大切だと考えています。

また、県レクの活動は、高齢者から子どもまで、同世代からは得られない様々な情報が交換でき、各世代が「生きる」勉強ができるんです。この「生きる」勉強を経験してもらい、新たな人材を育成していくことにも力を注いでいます。



こんな活動もやってます！

レクリエーション・インストラクター養成講座

子どもや高齢者など対象に合わせ、緊張をほぐす方法や、コミュニケーション能力を高める方法などを学ぶのがインストラクター養成講座です。

しっかりとした技術を身に付けた上で、活動している点が県レクの強みです。



遊びサロン

有資格者のスキルアップを図る親睦会です。



ニューエルダー元気塾

高齢者の元気づくり活動です。多くの方に参加していただきたいので、毎年活動場所を変えて活動しています。今年は、鳴門で活動予定です。





川と人をつなぐ・・・

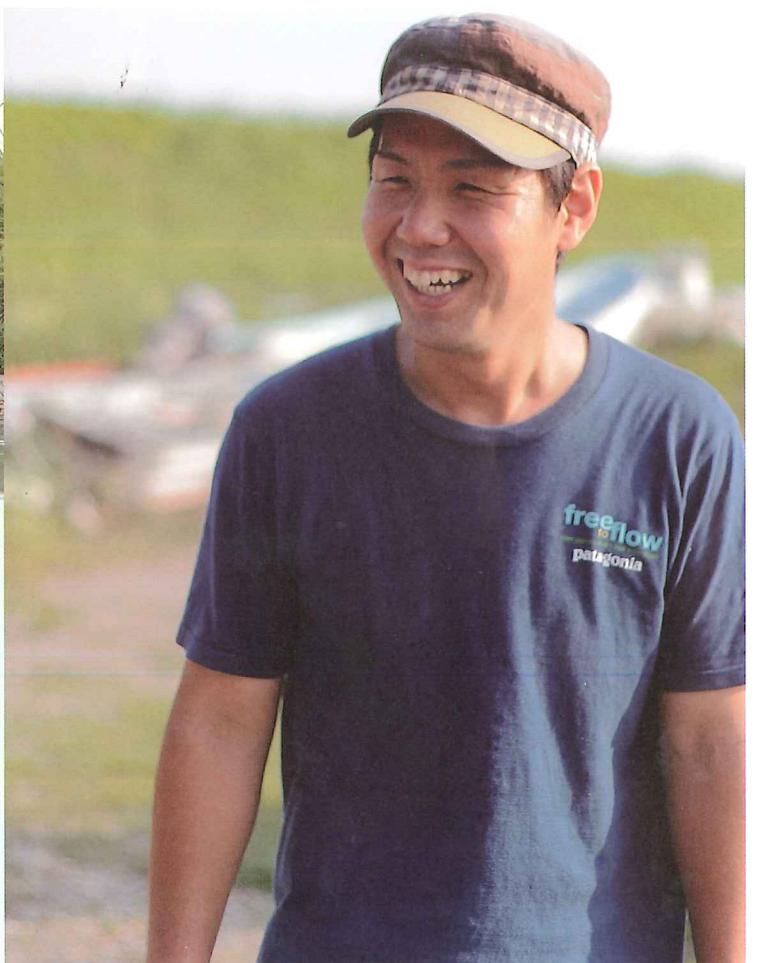


川塾
しお ざき けんた
代表 塩崎 健太さん
Web <http://www.kawajyuku.com>

※川塾の主な内容

小学4年生～中学3年生を対象に、四季折々の吉野川で遊びながら暮らしと吉野川との繋がりを体感できるイベントを柱として行う。

その他に、キャンプ、冬には竹細工などのイベントも実施。



「吉野川の恵みの美味しい食べ物やお酒があって、徳島って素敵やなあ。」と語るのは、吉野川で、遊びを通じ子どもの環境学習を行う川塾の塩崎健太さん。

塩崎さんが初めて“川”と出会ったのは、「NPO法人吉野川みんなの会」環境教育部門の吉野川自然教室で、ボランティアスタッフとして活動を始めたのがキッカケでした。兵庫県出身で川にじみがなかった塩崎さんは、吉野川の川幅、町から近くてこんなに生き物が多い環境に強いインパクトを受けたそうです。

みんなの会は2010年に解散。しかし環境教育部門はなくすべきではない、と同年、塩崎さんら吉野川自然教室のスタッフは、新たに継続団体として「川塾」を立ち上げました。

塩崎さんが活動を通して子どもたちに感じてほしいことは、「吉野川と自分たちの暮らしは密接に繋がっている。」ということ。また、自分たちが獲った魚を食べる「命をいただく」ことは、生きるベースにもなることなので大切にしているそうです。

「川塾」の特徴は、スタッフが近所のお兄ちゃん、お姉ちゃんのように子どもたちに接していることです。それは世代を超えたつながりとして、

安心できるお兄ちゃん、お姉ちゃんと居られる場所をつくりたいという想いが込められているからです。

そして、塩崎さんらが目指すべきものを伝えているのが、昔、吉野川で遊んでいた“天然の川ガキ”。60歳を超える川ガキから、川での遊び方や昔の情景などを教わっています。「こういう活動をしているうちは“養殖の川ガキ”で、それが地域で外的刺激を入れずに循環していくけるようになってこそ“天然の川ガキ”になれる。」と塩崎さんは言います。

このように、今の時代に無くなりかけていることを、遊びの中で自然に感じられる川塾での経験は、子どもたちの心の中に深く残ることでしょう。

川を通じた出会いやつながりを大切にしながら、「自分の想いを実現するために働く場所」として川塾で活動を行う塩崎さん。最後に、「これからやってみたいことは？」と聞くと、「もっとたくさんの子どもたちに伝えたいし、大人から子どもまで参加できるイベントもやりたい。ゆくゆくは山、川、海、そして里のつながりを感じられるイベントもやりたい。でも、1番やりたいのは吉野川ロックフェスティバル！」と楽しそうに話してくれました。

シリーズ・このひとから

南阿波サンラインのアドプト事業と「風景海道」

特定非営利活動法人

日和佐まちおこし隊

景街道の登録を目指すため、我々NPOが中心となり「南阿波サンライン活性化協議会」を立ち上げました。

そして、平成25年

3月27日に、風景街道「～オーシャンビュー～南阿波サンライン・風景海道」として登録されました。

海と陸からなるこの風景海道を地域の宝として、景観を保全しながらアドプトで守り続けていくため、日々知恵を出し合い、模索しながら楽しんでいるところです。

中東覚さん

美波町の歴史を掘り起こし地域振興を図る協議会
遊元快者（ゆうげんかいしゃ）会長
地域がキャンバス推進協議会会長
一美波町の地域資源を生かして、若者も高齢者も日々目的を持ち生き生きと暮らせるまちづくりの実現のために、まちおこし活動に取組中



かつて我が国が右肩上がりの経済状況下にあった昭和40年代、室戸阿南海岸国定公園のシーサイド・スポットとして建設された南阿波サンラインも、時代の流れとともに観光道路から一般県道となり、木々がうっそうと茂り、海が見えない、錆びついた感じの道路となっていました。そこで、我々数人の有志が“錆び”を落とすべく、県当局に対し樹木伐採の高所作業車をお願いしたのが平成20年でした。

県当局もすぐに、「南阿波サンライン再生プロジェクト」を立ち上げ、生い茂った樹木の伐採・不法投棄されたゴミの撤去、また徳島大学とのワークショップなど、行政と民間団体、沿線の事業所からなるプロジェクト事業として4年間活動を行いました。その成果の一つとして、現在9団体が参画してアドプト事業に取り組んでいます。

また、平成24年には、国土交通省の日本風

地域に根ざしたボランティアコーディネーター目指して！

吉野川市社会福祉協議会 地域福祉課主事

すみともひろゆき
住友宏行

ボランティアコーディネーターとして早数ヶ月が過ぎました。社協に勤務して初めてのボラコということで、日々勉強の毎日です。地域に出向いての情報収集、住民の方への情報提供ができるかどうか不安になることもありますが、がんばって行こうと前向きに活動しています。

まだ、右も左もわからない時もありますが、研修等や会議に参加して他市町村のボラコのみなさん、とくしまボランティア推進センターのスタッフの方にアドバイスをいただいて大変助かっています。社協の職員間の連携が心強いと感じました。

吉野川市社協でのボランティアセンター事業は、夏休



サマーチャレンジボランティアワーク

みに市内の中学生を対象とした、サマーチャレンジボランティアワーク事業を行っています。子どもたちに、ボランティア活動の自発性等を養ってもらい、活動の楽しさや参加するきっかけ作りになればと、4日間講座を行っています。

今回は、災害についての知識や体験のプログラム、地元学童クラブとの交流を用意しており、子どもたちに学んでもらえたらと思っております。

また、市内のボランティア団体との連携を強化していくなければならないと思っています。情報をもうばかりではなく、こちらも情報を提供し、お互に成長していくなければと思っております。

これからボラコとして経験を重ね、いろいろな事業にチャレンジしていきたいと考えています。また、地域の皆さんとの声に耳をかたむけ、アドバイスができるような、ボランティアコーディネーターを目指したいと思います。



●エコキャップ回収のご案内●

健康づくりのためのウォーキングイベント「あさんウォーキングフェスタ in いたの」イベント会場エコキャップ回収ステーションで、板野町社協と徳島県社協がペットボトルの回収を行いますので、ご協力お願いいたします。

日 時：平成25年11月10日（日）

場 所：あすたむらんど徳島（あさんインダストリアルパーク内）

詳しい内容についてのお問い合わせは、

徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センター

TEL.088-664-8211



●第57回徳島県社会福祉大会のご案内●

大会では、永年にわたり社会福祉事業推進に功績のあった方々に敬意と感謝を表すとともにこれからの福祉活動への取り組みを誓います。

また、当時は、友近890（ともちかやっくん）さんによる記念講演が行われます。

日 時：平成25年11月7日（木）10：00～12：30

場 所：あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）

参加申し込み、大会についてのお問い合わせは、

徳島県社会福祉協議会・総務企画課 TEL.088-654-4461

※参加無料、予約の必要はありませんので直接会場にお越しください。



ありがとうございます

預 託

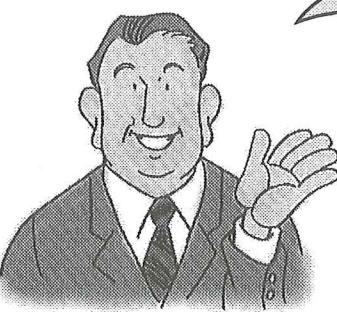
●靈友会「おもいやり連鎖運動」徳島県推進委員会様より、社会福祉法人 池田博愛会 箕蔵山荘へ軽量車1台をご寄贈。●徳島県阿波牛販売推進協議会様、徳島県食肉荷受株式会社様より、県内児童養護施設7ヶ所へ阿波牛肉のご寄贈。●全国農業協同組合連合会徳島県本部様、JA徳島農政協議会様より、県内児童養護施設7ヶ所へ阿波そだち（コシヒカリ新米）のご寄贈。●徳島ミュージカル劇団ひいたあぱん様より、県内児童養護施設へ、ひいたあぱん主催アイラブダンス ダンスコラボレーションへのご招待。●徳島県民文化祭開催委員会様より、県内社会福祉施設へ第15回徳島県民文化祭「わわわフェスティバル」へのご招待。

【平成25年度】

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

Aプランは、死亡1,200万円、入院6,500円、通院4,000円、賠償責任5億円（限度額）を補償



特徴は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症（日射病・熱射病）による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償（天災タイプご加入の場合）

年 間 基本タイプ Aプラン … 300円 Bプラン … 450円
保険料 天災タイプ Aプラン … 460円 Bプラン … 690円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 → 社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一緒に契約を行う団体契約です。

全国180万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償！

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償！

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償！

イベントガイド

来て・見て・体感!!

第9回とくしま NPO・ボランティアフェア

日 時：平成25年11月4日（月）

10：00～16：00

場 所：新町川ボードウォーク

内 容：パラソルショップで自団体の活動をPR

例) 活動内容のわかるパネル展示
活動により生じた物品等の販売

活動内容を広報するための飲食物の販売

ステージでのパフォーマンスパンフレット等資料展示

※詳しくは、とくしま県民活動プラザまでお問い合わせください。



徳島ひょうたん島博覧会「川いいね!とくしま。」

日 時：平成25年10月26日（土）～27日（日）

場 所：徳島市中心部 ひょうたん島周辺

プログラム：ひょうたん島一周水上パレードのほか、カヤック体験や、ワークショップなど、川と人がつながる様々な体験プログラム

お問い合わせ：徳島ひょうたん島博覧会実行委員会事務局（徳島市企画政策課内）

（担当：小原、佐竹）TEL.088-621-5085

助成・支援

「きれいな川と暮らそう」基金

◆応募締切：平成25年11月30日（土）

◆助成金額：事業1件あたり100万円以下

◆対象団体：水資源確保・河川美化清掃・水質保全などの水環境保全活動に取り組む団体

◆問い合わせ：公益社団法人 日本河川協会「きれいな川と暮らそう」基金事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E・C・Kビル3F

TEL：03-3238-9771 FAX：03-3238-2426

URL：<http://www.japanriver.or.jp/kireinakawa/index.htm>

大竹財団助成金

◆募集締切：随時募集

◆助成金額：一件あたりの上限額50万円

◆対象団体：公益、社会問題の解決に取り組む事業をおこない、日本国内に事務所や連絡先をもつ団体、個人

◆優先分野：1. 平和 2. 環境 / 資源エネルギー 3. 人口 / 社会保障 4. 國際協力

◆問い合わせ：一般財団法人大竹財団（事務局 / 担当：関盛）

〒104-0031 東京都中央区京橋1-1-5 セントラルビル11F

TEL：03-3272-3900 FAX：03-3274-1707

URL：<http://www.ohdake-foundation.org/grant.html>



おか だ いくひろ
岡田 育大さん

海と森を愛する男

岡田君と最初に会ったとき、徳島をもっと楽しく活性化したいという話で盛り上がりました。それからは、岡田君が行う森づくり事業のお手伝いをしたり、現在は徳島ライフセービングクラブでも一緒に活動をしています。

本業はといえば、東京で公認会計士をしているのですが、この時点ですでに岡田君っていったいどんな人?という疑問がわくと思います。私も未だによく分かっていません。でも、岡田君が創った「aizyu（アイジュ）」に行けば彼のことを少しは分かるかもしれません。

アイジュは、内装にすべて徳島県産の木材を使用している多目的スペースで、その一角にあるシェアオフィスに私たちも事務所を構えています。アイジュにいると私たちは、常に徳島の優しい自然に囲まれていると感じることができます。

利用者のみなさまの中には、そういういたアイジュの空間に惹かれてやってくる方も大勢いて、リラックスして様々な会話やアイデアを交わすことができる場所になっています。そして、岡田君自身もそんな人なのです。



みなと すみ か
文・源 純夏



「ゆめパンクとくしま」の平成25年度助成先が決定しました!

「ゆめパンクとくしま」は、県民や企業、団体のみなさまからご寄付を受け入れて、活動資金を必要とするNPO等へ助成を行っています。

平成25年度は次の団体への助成が決定しましたのでお知らせします。

●とくしまチャイルドライン（68,260円）

チャイルドラインは、子どもがかける子ども専用相談電話。電話を受けるための事務所移転費用の一部を助成しました。



●心身障害者家族の会にんじんの会（100,000円）

中学校の合唱部との、交流コンサートの費用の一部を助成しました。コンサートを通じて理解の輪を広げるとともに、DVDを中学校に配布して人権教育へ活用してもらったり、にんじんの会との交流に役立てたりする予定です。

●NPO法人 協働プランニングNIMS（ナイス）（50,000円）

毎年主催する「コミュニケーション・ファシリテーター養成講座」のテキスト作成のため、製本機購入費用の一部を助成しました。

●NPO法人 マミーズ（127,700円）

那賀町で、独自のファミリーサポート事業（育児サポート）を実施中。平成25年度に那賀町で行われるイベント時の、無償託児費用を助成しました。

※とくしま県民活動プラザは2月1日に徳島県の「仮認定」を受けました。「ゆめパンクとくしま」への寄付は、確定申告することで次の租税優遇措置を受けることができます。

・個人が寄付をした場合→税額控除を受けられます

（寄付額-2,000円の最大50%）。

・法人が寄付をした場合→損金算入限度額の枠が拡大されます。

編集後記
プラザで仕事を始めてすでに3か月が過ぎました。（執筆時）ここへは、老若男女を問わずいろんな方が集まって来られますが、みなさん何らかの形で社会貢献活動に取り組まれている方たちです。活気にあふれていて、使命感に燃えているのが手に取るように伝わってきます。本来であれば、我々が支援する立場であります。みなさんから元気をいただきながら、共に成長していくなら良いなと考えておりますので、よろしくお願いします。（増野）

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています！



一般社団法人 徳島県医師会

会長 川島 周
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

**CLEAN UP 吉野川をきれいに！
参加団体、募集中。**

吉野川交流推進会議
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地
TEL 088-621-2743
FAX 088-621-2822
E-mail office@yoshinogawa.org
<http://www.yoshinogawa.org/>

とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は（特非）とくしま県民活動プラザと（社福）徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

4つの機能で応援

1.情報収集・提供

団体のイベント開催チラシや会報、活動がわかる情報を広く発信。また、企業・行政の助成金・各種研修会などの情報や関連図書・ビデオも収集しています。（ホームページ、広報誌、図書コーナー、団体情報、各種助成情報）

2.活動・交流の場

グループでの会議や活動のPRに必要なチラシやポスターなどの作成のため設備を整えています。（ミーティングコーナー、会議室、パソコン、コピー機、作業室）

3.相談・支援

ボランティア・NPOに関する質問・ご相談にお答えします。

4.人材育成・研修

団体が力をつけるための研修会やイベントを実施します。（各種講座、NPOフォーラム、NPO・ボランティアフェア）

●プラザ開館時間

開館時間：10:00～18:00

【研修室利用時間】

火曜日～土曜日：10:00～21:00

日・祝日：10:00～18:00

休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



●公共交通機関をご利用の場合

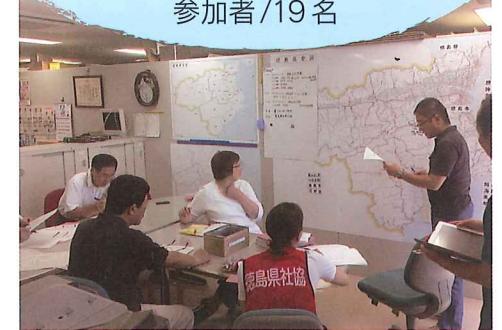
JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリナーミナル」下車すぐ
・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ



各市町村社協と連携し実施した3ブロックでの模擬訓練終了後に、徳島県社協では徳島県災害ボランティアセンター設置の中心的役割を行い、災害発生時に市町村社協支援を円滑に行うために作成したマニュアル検証のため、独自の職員募集訓練・緊急事務局会議の実施、様々な手順の確認訓練を行いました。

図上ではなく実際に動いてみるとユアル等を熟読するだけでは分からなかつた課題点（情報の共有、処理の流れ等）の洗い出しができ、災害時に備える成果が得られました。

県社協での模擬訓練
7/13(土)
県社協(県社協事務局)
参加者/19名



平成25年度 地域福祉セミナー

平成25年6月15日(土) 県立総合福祉センター5Fホール

少子高齢化が進行する現在、誰もが高齢になつても、障がいが生じても、住み慣れた地域の一員として暮らしていくことを現実のものにするために、日々権利擁護に取り組む方々の活動事例を発表していただき関係機関や住民等が共に考えることを目的に開催しました。

シンポジスト発表内容

高齢者世帯が抱える問題

居宅介護支援事業所大神子

管理者 松本 隆子 氏

精神障害者の地域生活支援

地域活動支援センターことじ

相談支援専門員 岡田 晃子 氏

とくしま絆ネットの取り組み

とくしま高齢者・障害者

代表 藤澤 和裕 氏

とくしま絆ネットの取り組み

とくしま高齢者・障害者

事務局 西條 志野 氏

認知症の方は、不安の中で生活されています。本人が望む在宅生活を続けていくためには、家族の協力や地域の理解、支え合いがなくてはなりません。そして、支援者は本人に寄り添つて切れなく支援を繋いでいることが必要です。そのマネジメントを行うのが介護支援専門員の大変な使命だと思っています。

精神科病院に入院中の方の中には、周囲の理解が得られ支援体制が整えば、地域で生活ができる方がたくさんいます。当たり前のことが理解され保障されていらない現状があります。当たり前のこと理解していただき、一人でも多くの方に彼らの味方になっていただけたらと願っています。

理解が得られ支援体制が整えば、地域で生活できる方がたくさんいます。当たり前のことが理解され保障されていらない現状があります。地域住民に精神障害を正しく理解していただき、一人でも多くの方に彼らの理解していただきたいと考えています。



これからも、いつまでも頼りがいのある銀行として、地域のみなさまとともに歩んでまいります。

これからの「こころ」のメインバンクへ
<http://www.awabank.co.jp/>

環境にやさしい銀行を目指し
環境保全活動に取り組んでいます。

つきあいとくぎん
ISO14001認証取得
(登録範囲は本店)
http://www.tokugin.co.jp

